

2019年12月18日

当社ファンドラップに関するインタビューがメディアに掲載されました

金融機関向けメディア「Ma-Do」(マ・ドウ)Vol.56(2019年11月発行)に当社ファンドラップ運用に関連するインタビューが掲載されました。記事の後半に、当社取締役CIO(チーフ・インベストメント・オフィサー)兼運用部長の竹崎が当社ファンドラップのサービス内容を、取締役兼営業部長の今里が代理金融機関のコンサルティング営業への支援策などを説明しております。ぜひご覧ください。

Ma-Do(マ・ドウ)Vol.56記事「非連続を掲げてたどり着いたファンドラップを軸とするストック型ビジネスで新たな可能性を拓く」

https://www.wsquare.co.jp/news/data/ws20191218_a.pdf

以上

<費用およびリスク>

ファンドラップ・サービスの費用には、お客さまに直接ご負担いただく費用(投資顧問報酬)と間接的にご負担いただく費用(投資対象となる投資信託に係る費用)とがあります。費用等の合計はこれらを足し合わせた金額となります。投資顧問報酬は固定報酬であり、お客さまの運用資産の時価評価額に対して、最大で年1.375%(税込み、消費税等抜き:1.25%)となります。投資対象となる投資信託については運用管理費用(信託報酬)(信託財産に対し最大で年1.35%(消費税等込み))、信託財産留保額(最大で信託財産の0.30%)のほか、売買等の取引費用や監査費用等のその他の費用が信託財産から差し引かれます。また投資信託が投資する投資信託証券には運用実績に応じて成功報酬がかかるものがあります。なお、これらの費用の合計額および上限額については、資産配分、運用状況、運用実績等に応じて異なるため、具体的な金額・計算方法を示すことができません。

ファンドラップ・サービスは投資信託を主な投資対象として運用を行いますので、投資信託の基準価額等の変動により損失が生じるおそれがあります。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)およびお客さま向け資料でご確認ください。

商 号 : 株式会社ウエルス・スクエア 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2914号

加 入 協 会 : 一般社団法人日本投資顧問業協会